

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

平成25年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

平成25年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み、成果等を取りまとめ教育に関し学識経験を有する方から総合的な評価を受けた。

総合評価

1 「学校教育を充実し、次世代を育てる」ことについて

- 震災被害からの復旧，中学校の改築，小学校の改修，耐震化を行い，教育環境の整備・充実を図り児童生徒が安全・安心に教育を受けられるよう最優先で取り組んだ。今後も計画に基づき進められたい。
- 学習指導要領に則り，着実な指導を行うために計画訪問や教員研修等をさらに充実した取り組みを願う。
- 時代が要求するICTの活用をさらに積極的に推進されたい。
- 幼保一元の体制と預かり保育を充実されたい。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」ことについて

- 生涯にわたって学ぶ楽しさの学習機会，環境のさらなる充実を期待する。公民館，学習センターでの講座の受講者数も増えている。内容のマンネリ化，受講者の高齢化・固定化，講師の不足等の課題もあるが困難を克服して文化・教養の地，常総の創生を望む。
- 市民の文化活動を支援したり，郷土の歴史遺産を大切にすることは郷土を愛することである。文化的イベント（特に長塚節文学賞，篠山木挽き唄全国大会，坂野家でのコンサート）のさらなる充実を願う。文化活動を行う施設の整備や有効利用の検討を願う。
- 図書館サービスについては，積極的，意欲的な取り組みが多く，今後も継続されたい。
- 高齢化が進行し，健康寿命を延長させる意味からも，手軽にできる総合型地域スポーツ（常総スポーツクラブ）のさらなる充実のための支援を望む。
- 親子deいきいきスポーツ体験フェスタは市民の関心が高い。少子化に対応して親子のふれあいをはじめ，世代間交流，青少年の健全育成等多くの有効性があり継続を望む。

ご意見をいただいた学識経験者

(順不同，敬称略)

梅 澤 浩	元茨城県立水海道第一高等学校長
廣 瀬 征 夫	元常総市立石下小学校長